

下田山塊 笠堀～万之助山（前光明）

佐貫

【日時】 2012年2月25日(土)～26日(日)

【メンバー】L佐貫、棚橋、栗原（以上トマの風）、宮内（わらじの仲間）

2年前のGWに未丈からの縦走山行のゴールとなった光明山。その山頂から笠堀ダムまでの稜線はアップダウンが多く、頂稜を巻くようにつけられている登山道は残雪に覆われて所々分りにくかった。「厳冬期に尾根上を行ったらとても面白そうだ」と確信したが、今年の大雪は三条までのアプローチの運転を危険にさせるほどで、2月も末になってやっと計画することが出来た。光明山の頂に立つことは難しいと予想しつつ、まあ見立てがどの程度合っているか見てみようということで車を走らせる。

八木鼻あたりでもかなりの積雪。うまく駐車場所を見つけることが出来るのか不安になるが、笠堀集落に入りダメモトでお願いした民家の敷地内に駐車させて頂けることになった。当初考えていたセオリ沢左岸の林道からのルートに代わり、笠堀集落の西端から取付くことにして早速スノーシューを履く。数歩歩いてみると雪がかなり湿って腐っていることに気付く。新雪のラッセルのような大変さはないものの、やや高い気温と湿雪の組み合わせは汗だくの登りを早くも連想させる…。

少し前に新潟の某山岳会がこのあたりで会山行を行った模様で、広くて歩き易い尾根にはピンクテープが残されていた。朝のうちに降り始めた雪が登るにつれてミズレっぽくなり、しまいには雨に変わる。ゲンナリしながら登っていると、注意力散漫だったのか何でもないところで膝がグリッと内側に入ってしまう、痛みに呻吟しながら3人を追うことに。そしてc. 547mを過ぎると尾根が痩せてきて、雪庇が出たり急だったりとスノーシュー向きではなくなってきたのでアイゼンに履き替えた。少し進むと地形図上の岩マーク地点、左右が切れ落ちていてモッコとした雪庇とかキノコ雪とかいうか、ここって本当に標高500m台ですか？と聞きたくなるような怪しげな稜線が現れた。宮内さんがロープを引いて少し巻き気味に行こうと



左右どちらにも落ちられない



するも、その先が良くないので一度出直して稜線伝いに何とか抜けて行った。その先も雪庇とギヤップになっているようで、ラストの栗原さんがもう1Pロープを延ばす。この先どれだけ時間がかかることかと心配したが、後はロープ無しで歩いて行けるような尾根になった。



あまりの雪質の悪さに、ロープを出しているときから「下手するとハマるかも」という声が聞こえ始める。肉食系(?)の他の3人は「光明山に行かずにおられようか。いやない。」と古文の反語の問題のようなことを言うに違いないと思っていた草食系の私は意外」に感じつつも、説得工作に長時間かけずに済みそうなことに安堵する。結局、大日影沢の源頭に近い尾根に平坦地を見つけ、まだ先に進む気が少しありそうなメンバーもいたような気がするが幕営地点とした。中からは大汗、外からは雨のち湿雪とシャワークライミングの後のような濡れっぷりでテントに入り、床にできた池塘を拭き取ったりしながら楽しく宴会。明日は万之助山往復ですねという感じで就寝した。

足元は悪雪、空からは湿雪

2/26 (日) 曇り後雪

ちょっと迷ったものの、全装備を背負わず不必要なものはテントにデポして行くことに決めて出発。大して細い尾根ではないが少し斜度があるので今日もアイゼンを履く。出発直後は少し薄日が射してきそうな天気だったが、小一時間もすると雪が降り出して視界もあつという間に悪くなった。ヤオトメ沢と金倉沢の中間尾根(ここを登っても面白いのだろうか?)との分岐に着いた頃にはかなりの降雪となる。尾根と空の境目もぼやけるようなガスっぽい天気の中、稜線を雪庇に注意しながら歩いていると、大きく亀裂が入っているのが分かった。こんなところで雪庇を踏み抜いたら壁のような金倉沢の源頭に真っ逆さまなので慎重にルートを見極めながらトップが進む。ロンレ沢の右岸尾根が結構はっきりと派生しているところが万之助山の山頂だった。残念ながら眺望はなく、また往路を戻るのもそうそう楽ではなさそうなので、早々に下山にかかる。ここに2月に来る人っているのかなあ(いたらぜひ会ってお話したい)と思った。

幕場に帰って荷物をまとめ、往路を戻る。2か所ほど面倒な登り返しがあって、少し水が溜った膝にはダメ押しとなった。雪はどんどん強くなるが、幸いなことに行きにロープを2P出した核心部の半分はロープ無しで戻ることが出来た。行きの1P目に該当する部分の1/2くらいだけロープ使用で戻り、しばらくしてからスノーシューに履き替える。最後に来たルートよりもひとつ前の分岐で違う支尾根に入ってしまう、セオリ沢の左岸尾根から林道に出て国道に戻る羽目となった。林道の終了地点にある採石場は異様な地形と独特の雰囲気。



駐車させてもらった民家に戻り挨拶すると、「思ったより早かったねえ。万一警察沙汰になったらどうしようかと思ったわ」と優しくお茶やお菓子を勧めて下さった。有難く頂いてからいい湯らていに向かい、温まって食事をして帰京。五十嵐川の白鳥に会うことを期待していたが、一羽しかいなかった。残念。

積雪期の下田には、まだまだ通ってみたい。

【行程】

2/25 笠堀集落(8:07)～尾根末端(8:11/20)～Co429m(9:01)～Co547m(10:01)～o682m(12:52)～Co590m付近C1(14:23)

2/26 C1(6:13)～万之助山(7:31/37)～C1地点(8:10/43)～Co682m(9:41)～547m(11:08)～林道方面分岐(11:40)～林道入口(12:28)～笠堀集落(12:46)

【地形図】 光明山

